

ゼミ課題 てしま旅館の VR を活用した体験

市川ゼミ 3年 福山直

目次

- 1.はじめに
- 2.内容について
- 3.まとめ
- 4.参考資料・URL

1.はじめに

今回は、コロナ禍における観光地の面白い取り組みとして、山口県にあるてしま旅館の【VR てしま旅館 福ふく会席】を紹介する。これは、旅行の自粛ムードが広がる中、宿泊を断念したお客様のために、「客にお越しいただくのではなく、こちらから出向きましょう」をコンセプトに生まれた企画である。旅館側から出向くという考えがとても斬新で面白いと感じ、興味を持った。

2.内容について

内容は主に2つに分かれている。1つ目が、「天然温泉・猫庭・ロビー・部屋」の4つをVRで体験するというもの。2つ目がふぐ会席を自宅に送るというものである。

・VR体験について

実際に旅館を訪れた際のシチュエーションをイメージしてそれを購入者は視聴することができる。自宅の湯船に浸かりながら視聴することにより、本当に自分が温泉に入っているような体験ができる。また、猫庭や部屋の映像も同様であり、自宅に居ながらVRによって、あたかも自分が旅館に泊まっているような雰囲気を感じることができる。



図1 温泉 VR



図2 猫庭 VR

・ふぐ会席について

この企画のメインである。山口県といえばふぐであるが、旅館に泊まらずとも自宅で楽

しめるよう、食事のセットを配送している。その内容は、鉄刺・身皮焼き・てっちりとふぐを堪能できる内容となっている。

鉄刺はいわゆる刺身であるが、冷凍したものではなく、生のまま発送するため、新鮮なふぐを味わうことができる。ふぐの締め方にこだわり、うま味成分が最大となるように作られている。



図3 鉄刺

身皮とは、三枚おろしにした際、身を覆っていた厚めの皮である。これをオリジナルのうにダレで焼いたものである。あまり量の取れない部位であるので、貴重な体験を行うことができる。



図4 身皮焼き

てっちはふぐのアラや身を入れた鍋料理である。鍋を食べ終わった後には雑炊も作ることができ、さまざまな味を楽しむことができる。



図5 てっちり

価格については、2～4人前で19,500円、5～6人前で24,000円と決して安くはないが、旅行に行くことが難しいこのご時世にはぴったりの規格であると感じた。

3.まとめ

新鮮なふぐを使った会席とVR活用したユニークな企画であると感じた。VRは近年よく耳にするが、さまざまな技術の発展により、旅館の雰囲気を実家でも感じられるようになったことに驚くとともに、アイデア次第で全く無縁であると思われる2つを掛け合わせることで、新たな発見を生み出すことができるのだと感じた。

4.参考資料・URL

・てしま旅館 公式ホームページ 山口県の冬はふぐ、夏はうに、そして猫庭!!
<https://teshimaryokan.com/> 最終閲覧 2021/02/10

・新型コロナに負けるな!!世界発【VR てしま旅館&福ふく会席】
<https://teshimaryokan.com/vr-fuku/> 最終閲覧 2021/02/10